

昭和十一年三月廿九日
967

貧乏學生デ―に就て

實に國民教育なり七千萬同胞の平等教育なり

現代の社會改造は勞働問題、婦人問題等各種多端なりと雖も、最大急務たるは

即ち、勞働者の教育、富豪の徳育なり。勞働者、富豪の智育、徳育なくして制度を如何に改革改造するもそは争闘域を遂進するのみにして進歩に非ず。見よ現代の教育が如何にブルジョア的にして營業的なるかを、吾等貧乏苦學生は生れながらにして貧乏なるを欲したるに在らず吾等は教育を受け得られざる境遇を希望したるにも在らず

吾等は國民公平なる教育を要求す

吾等貧乏苦學生は生存と教育を同時に受けざるべからず然るに生存を求むれば社會の進歩に後れ教育を受くればパンを得ず吾等は如斯き不合理なる社會を欲せず

吾等苦學生は改革改造の急先鋒たるべし

此に於て吾等貧乏苦學生は一致團結して大日本苦學生總同盟を組織し教育の機會均等の實現を期し以て吾等貧乏苦學生のレベルの向上に努力す 依て五月八日(日曜日)午前九時上野公園兩大師前に於て

大日本貧乏學生總同盟總會

を舉行し續いて市内各所に於て勞學院建設の資金を調達すべく貧乏學生デ―の大賣出を爲す依て江湖諸賢の御了解と御援助とを乞ふ

東京市牛込區南町壹番地

主催 大日本苦學生總同盟

右當日總會々長

來賓

有馬 賴寧 伯
後藤 文雄 氏
坂谷 芳郎 男
箕浦 勝人 氏
石本 惠吉 男

同 同 同 同 同
幹部人名

大日本貧乏學生相談所長

帝國苦學生救濟會長

日本教育者協會主事

全國青年同志會總務

前東京學生新聞幹事

生産軍組織發起人陸軍大尉

安部 登 (盟主)

山崎 助 (副盟主)

小城 基 (相談役)

原田 治 (相談役)

安部 默 爾 (相談役)

高橋 久 次 (相談役)

各位